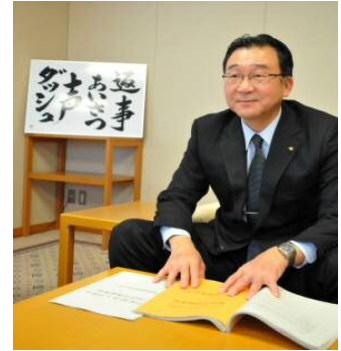


平成27年度 部局長マネジメント方針

やまもと よしのぶ
市長公室長 山本 吉伸



仕事に対する基本姿勢

市長公室は平成24年度に市長のトップマネジメント機能を強化するために設置され、行政の総合調整、重要事項の推進、また広報広聴部門を担っております。

市長公室は今年度で4年目を迎え、ますます多様化する行政需要の中で、各部局間にまたがる市の重要な施策・事業を推進していくため、その総合調整機能を発揮し、連携強化させることにより、施策事業の推進をスピード感をもって実行していかなければならないと考えております。

広報広聴部門においては、市政運営における公正性の確保と透明性の向上を図るため、市の政策形成過程において市民が参加する機会を提供するとともに、市民への情報の公開・提供と説明責任を果たすことが必要であります。

あわせて、本市の魅力を発信することもこれからの広報に課せられた大きな課題であります。ラグビーワールドカップ2019が本市花園での開催が決定され、国内はもとより世界各国から注目されるまち東大阪の魅力を発信してまいります。

また広聴事業として、市民生活に関係の深い問題等について、市民の意識、意見等を迅速かつ効率的に把握するとともに、市政への関心を高め、市民参加を促進することを目的とした「市政モニター事業」を今年度から実施いたします。

平成26年度の振り返り

市長公室として、平成25年度には市政だよりの文字拡大や紙面のカラー化による「見やすく・より分かりやすい」内容へと改善するなど、広報事業の充実に取り組んでまいりました。

平成26年度におきましては、利用しやすいウェブサイトの構築という課題を挙げ、市民にとって興味ある情報や有効な情報にすばやくアクセスできるように工夫を凝らし、トップページも見やすくするなど、全面的にリニューアルを行いました。

1 市政だよりの充実

行政情報を市民に伝える一番の広報媒体として、今後も幅広い世代の市民に手に取ってもらい読んでいただけるように、見やすく・よりわかりやすい紙面作りに努めます。

2 利用しやすいウェブサイト構築

市ウェブサイトが、すべての人にとって見やすく・よりわかりやすいウェブサイトとなるよう、庁内で構成するサイトの運用・管理向上に向けた委員会を定期的開催し、適正な運用管理とシステム改善のための意見交換を行うなど、市民が求める行政情報にすばやくたどり着けるサイト構成を進めます。また、担当職員間の交流による情報の共有と利用者が求めるウェブサイトの充実に向け、担当職員のスキルアップに努めます。

その具体的な方向性として今年度は、情報発信のツールのひとつである「YouTube など」を活用し「市のみどころ・魅力」などを発信し、内容の充実に向けた検討を進めてまいります。

3 広聴活動の充実

【「市政モニター」による市民ニーズの汲み上げ事業の実施】

IT機器を活用した市の事業・施策に対する市民の声や要望を市政に反映するため、公募・登録する市民モニターを今年度募集（4月から）し、庁内組織の参画部署の協力により作成したアンケートにお答えいただく「市政モニター」を実施します。

一方、この事業の特徴は、市内事業所（5事業所）からこの事業に対するご賛同をいただき、協力していただいたモニターに対して、その事業所の製品を謝礼として送付し、市内の優良製品をもっと地域に広めていく役割にも寄与する事業として推進してまいります。

4 「市の魅力発信」に対する戦略的広報の検討・着手

現在、市の広報媒体（市政だより、サイト・フェイスブック、各種ポスター・リーフ、封筒など）は、数多く存在しています。

この広報媒体の活用方法については、これからの「ラクビーワールドカップ開催とその成功」「モノづくりのまち東大阪」などを全面的に掲げ、国内外に向けた旺盛な広報活動が求められます。

そのためには、広報活動の中長期的な構想をとりまとめ、全庁的な協力の下全ての部署の職員が「広報マン」として国内外に対して発信できる環境づくりが必要となります。

そうした環境づくりに向けて、今後戦略的広報活動に向けた構想の検討・着手を図ります。